

令和3年度
教員免許状更新講習
受講者募集要項

令和3年4月
宮崎産業経営大学

目次

- 1 . 講習開設の目的
- 2 . 受講対象者
- 3 . 講習一覧
- 4 . 講習の事前調査アンケート及び事後評価アンケート
- 5 . 修了認定の方法・基準
- 6 . 証明書の発行について
- 7 . 講習内容
- 8 . 講習受講申込郵送方法等
- 9 . 受講辞退について
- 10 . 問い合わせ先
- 11 . 受付
- 12 . その他
- 13 . 講習会場案

1. 講習開設の目的

宮崎産業経営大学では、教職課程を有する大学として、本学卒業生に対する責任並びに、学校教員のスキルアップを目指し、これにより地域の教育力の向上にも寄与していきたいと考え、教員免許状更新講習を開設いたします。

2. 受講対象者

＜旧免許状をお持ちの方＞

生年月日が【表1】並びに【表2】に該当する現職教員の方を対象とします。

【表1】令和4年3月31日が修了確認期限となる者

受講対象者の生年月日	免許状更新講習受講期間及び 更新講習終了確認申請期間
昭和31年4月2日～昭和32年4月1日	令和2年2月1日～令和4年1月31日
昭和41年4月2日～昭和42年4月1日	
昭和51年4月2日～昭和52年4月1日	

【表2】令和5年3月31日が修了確認期限となる者

受講対象者の生年月日	免許状更新講習受講期間及び 更新講習終了確認申請期間
昭和32年4月2日～昭和33年4月1日	令和3年2月1日～令和5年1月31日
昭和42年4月2日～昭和43年4月1日	
昭和52年4月2日～昭和53年4月1日	

＜新免許状をお持ちの方＞

新免許状は、免許状本体に「有効期間の満了の日」が記載されています。

有効期間は、免許状を授与された日の翌日から起算して10年間です。

免許状に記載されている有効期間満了日から2年2か月前の期間にある方が受講対象者です。

複数の新免許状を持つ方の有効期間の満了日は、最後に取得した免許状の有効期間に統一されます。

* 受講資格・更新義務の有無・講習の修了確認期限・免許申請等については、各都道府県の教育委員会（免許管理者）へお問い合わせください。

* 受講対象者および修了確認期限については、文部科学省ホームページを参照してください。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/08051422/003.htm

※ なお、「新型コロナウイルス感染症の発生又はまん延に伴う教育職員免許法第九条の二第三項及び教育職員免許法及び教育公務員特例法の一部を改正する法律附則第二条第二項に規定する文部科学省令で定める期間の特例に関する省令(令第25号)」、その他の理由により、修了確認期限、もしくは有効期間を延長している方も教員免許状更新講習の対象者となります。

3. 講習一覽

★選択領域(各講習6時間)

「教科指導、生徒指導その他教育の充実に関する事項」に関する講習

講習日	講習名	開設学部	認定番号	ページ
8月16日 月曜日	【選択】 深い対話をベースとしたアクティブラーニング (基礎編)	法学部	令 03-30602-504359 号	P.4
8月17日 火曜日	【選択】 深い対話をベースとしたアクティブラーニング (応用編)	法学部	令 03-30602-504360 号	P.5
8月17日 火曜日	【選択】 道の駅の地域活性化における効果 ～観光戦略と収支計画の観点から～	経営学部	令 03-30602-504361 号	P.6
8月18日 水曜日	【選択】 サステナビリティ(SDGs)を学ぶためのアクティ ブラーニング論	経営学部	令 03-30602-504362 号	P.7
8月19日 木曜日	【選択】 SNSについて知っておくべきこと	経営学部	令 03-30602-504363 号	P.8
8月20日 金曜日	【選択】 思わず買わせる仕掛けづくり ～儲けるマーケティング戦略の極意～	経営学部	令 03-30602-504364 号	P.9
8月21日 土曜日	【選択】 教育現場における憲法問題および民事問題 の検討	法学部	令 03-30602-504365 号	P.10

★受講定員

全講習:各 20 名 ※一部の講習においては、受講者数が一定を満たさない場合は、未開講となります。

募集人数を超えた場合は、次の優先事項を考慮し、抽選により受講許可者を決定します。

- ・本学開講の2講習以上受講者
- ・2022年3月31日に修了確認期限を迎える現職教員

★受講料:1講習 6,000円(銀行振込)

★会 場:宮崎産業経営大学(宮崎県宮崎市古城町丸尾 100 番地)

★受講講習当日受付時間:午前8時30分から8時50分

4. 講習の事前調査アンケート及び事後評価アンケート

受講申込者には、事前に受講にあたってのニーズ調査を行います。また、講習終了後には講習に対する評価アンケートを行います。なお、評価アンケートの結果は集計後、文部科学省より公表されます。

5. 修了認定の方法・基準

修了認定は、修了試験によって行います。修了試験は、午後の講義時間内に筆記試験で行います。なお、評価するにあたっての評価基準を次のように設定しています。

評価	点数	評価の定義
S(認定)	90～100点	当該事項の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。
A(認定)	80～89点	当該事項の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。
B(認定)	70～79点	当該事項の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。
C(認定)	60～69点	当該事項の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。
F(不認定)	0～59点	当該事項の到達目標に及ばない。

6. 証明書の発行について

講習の修了試験に合格された方には、「免許状更新講習履修証明書」を発行いたします。

履修認定時期は令和3年9月28日までです。

令和3年10月8日までに「免許状更新講習履修証明書」が送付されない場合はご連絡ください。

7. 講習内容

講習名	深い対話をベースとしたアクティブラーニング(基礎編)		時間数	6時間
開催日	2021年8月16日月曜日	ラーニングコモンズスペース (附属図書館)	受講人数	20名
対象職種	教諭		認定番号	令03-30602- 504359号
主な対象者	小学校・中学校・高等学校教諭			
講師	中本 幹生(法学部教授) 出山 実(経営学部准教授)			
講習趣旨	現在、学校教育の現場で生徒が主体的に課題解決を図るアクティブラーニングの手法が注目されている。今回改訂された学習指導要領では、これまでの詰め込み型の教育ではなく、深い対話をベースとしたアクティブラーニング中心の教育手法に大きく変化する。それに合わせて、教員の役割は、インストラクターからファシリテーターへと移行すると考えられる。そこで本講習基礎編では、アクティブラーニングの手法として、フューチャーセッション形式の対話型授業の方法を講義する。			
講習日程	8:30 ~ 8:50 受付 8:50 ~ 9:00 オリエンテーション 9:00 ~ 10:00 対話型授業の方法論(基礎)(中本幹生・出山 実) 10:00 ~ 10:10 休憩 10:10 ~ 12:10 対話型授業を経験する①(中本幹生・出山 実) 12:10 ~ 13:10 昼食休憩 13:10 ~ 15:10 対話型授業を経験する②(中本幹生・出山 実) 15:10 ~ 15:20 休憩 15:20 ~ 15:50 筆記試験:対話型授業のモデルを考える(中本幹生・出山 実) 15:50 ~ 16:30 全体振り返り(中本幹生・出山 実)			
認定方法	上掲の到達目標にどの程度到達したかを、記述等の試験で確認します。			
教科書・教材等	当日、プリント資料を配付します。			
備考				

講習名	深い対話をベースとしたアクティブラーニング(応用編)		時間数	6時間
開催日	2021年8月17日 火曜日	ラーニングコモンズスペース (附属図書館)	受講人数	20名
対象職種	教諭		認定番号	令 03-30602- 504360号
主な対象者	小学校・中学校・高等学校教諭			
講師	中本 幹生 (法学部教授) 出山 実 (経営学部准教授)			
講習趣旨	本講習応用編はシナリオプランニングの手法を講義する。シナリオプランニングは、多様な関係者の対話から、ある課題に関する現状を把握・分析し、時間軸や複雑な関係性を読み解きながら複数の未来シナリオを描いていくものである。未来シナリオは、利害関係者の認識を変えて、新しい関係性と協調的な行動を生み出す力を持つ。応用編では、シナリオプランニングを通じて生徒の総合的な力を引き出す講義を行うための企画・運営方法、対話プロセス、学習効果の測定方法などを説明する。			
講習日程	8:30 ~ 8:50 受付 8:50 ~ 9:00 オリエンテーション 9:00 ~ 10:00 対話型授業の方法論(応用)(中本幹生・出山 実) 10:00 ~ 10:10 休憩 10:10 ~ 12:10 対話型授業の実践①(中本幹生・出山 実) 12:10 ~ 13:10 昼食休憩 13:10 ~ 15:10 対話型授業の実践②(中本幹生・出山 実) 15:10 ~ 15:20 休憩 15:20 ~ 15:50 筆記試験:対話型授業の学習効果を上げるには(中本幹生・出山 実) 15:50 ~ 16:30 全体振り返り(中本幹生・出山 実)			
認定方法	上掲の到達目標にどの程度到達したかを、記述等の試験で確認します。			
教科書・教材等	当日、プリント資料を配付します。			
備考				

講習名	道の駅の地域活性化における効果 ～観光戦略と収支計画の観点から～		時間数	6時間
開催日	2021年8月17日 火曜日	5208教室	受講人数	20名
対象職種	教諭		認定番号	令03-30602- 504361号
主な対象者	高等学校(商業)教諭			
講師	墨 昌芳(経営学部准教授) 大内 健太郎(経営学部准教授)			
講習趣旨	<p>観光による地域経済活性化の大きな目的は海外も含めた他の地域から人を呼ぶこと(交流人口の拡大)です。そして観光客が地域でお金を使うことによって、地域経済への波及効果を期待します。その地域へ来る判断材料として、観光資源、移動の利便性などがあります。その中で、長距離移動の場合の休憩やトイレのために活用できる施設の一つとして道の駅があります。そして、実際に道の駅を活用して地域活性化を図ろうとしている地域が数多くあります。</p> <p>そこで本講義では、初めに道の駅の現状(取組み事例や経営戦略など)を本学の教員、及び道の駅「日向」館長から学びます。その後、学んだ内容を踏まえて、今後の観光戦略のための道の駅の活用方策を受講者の皆さんと一緒に考えます。</p>			
講習日程	8:30 ～ 8:50 受付 8:50 ～ 9:00 オリエンテーション 9:00 ～ 9:50 地域における観光の重要性と道の駅(墨 昌芳) 9:50 ～ 10:00 休憩 10:00 ～ 10:50 道の駅の事例～全国モデルと宮崎県の「道の駅」を中心に～(墨 昌芳) 10:50 ～ 11:00 休憩 11:00 ～ 11:50 道の駅の経営方法の種類と収支に関する事例(大内 健太郎) 11:50 ～ 12:50 昼休み 12:50 ～ 13:40 道の駅「日向」館長による取組みの事例の紹介(黒木 幹夫) 13:40 ～ 13:50 休憩 13:50 ～ 14:40 道の駅活用プランの作成(大内 健太郎、墨 昌芳) 14:40 ～ 14:50 休憩 14:50 ～ 16:30 プレゼン・ディスカッション・筆記試験(大内 健太郎、墨昌芳)			
認定方法	上掲の到達目標にどの程度到達したかを、記述等の試験で確認します。			
教科書・教材等	当日、プリント資料を配布します。			
備考				

講習名	サステナビリティ(SDGs)を学ぶためのアクティブラーニング論		時間数	6時間
開催日	2021年8月18日 水曜日	ラーニングコモンズスペース (附属図書館)	受講人数	20名
対象職種	教諭		認定番号	令 03-30602- 504362 号
主な対象者	中学校・高等学校教諭			
講師	森田 英二(経営学部准教授) 出山 実(経営学部准教授)			
講習趣旨	<p>現在、学校教育において SDGs/ESD の取り組みが盛んとなっている。SDGs/ESD の問題群は、複雑であり、答えがない特徴を持ち、アクティブラーニングにも適した課題であるといえる。また、サステナビリティに関する知識・知恵は、生徒たちにとってこれからの時代を生きていく新しい教養になると考えられる。そこで本講座は、サステナビリティ問題に焦点を当てたアクティブラーニングの方法を学び合うことを目的とする。</p> <p>具体的な内容としては、1)サステナビリティの基本的なフレームワーク(ナチュラルステップ持続可能性原則)を学ぶ、2)サステナビリティに向けた実践プロセスを学ぶ、3)教育現場におけるサステナビリティ教育の可能性を検討する。</p>			
講習日程	8:30 ~ 8:50 受付 8:50 ~ 9:00 オリエンテーション 9:00 ~ 10:30 サステナビリティ(SDGs)について 基礎編(出山実) 10:30 ~ 10:45 休憩 10:45 ~ 12:15 ワークショップを経験する①(森田英二) 12:15 ~ 13:15 昼休み 13:15 ~ 14:45 サステナビリティ(SDGs)について 応用編(出山実) 14:45 ~ 15:00 休憩 15:00 ~ 16:00 ワークショップを経験する②(森田英二) 16:00 ~ 16:30 振り返りを兼ねた試験			
認定方法	上掲の到達目標にどの程度到達したかを、記述等の試験で確認します。			
教科書・教材等	当日、プリント資料を配付します。			
備考				

講習名	SNSについて知っておくべきこと		時間数	6時間
開催日	2021年8月19日 木曜日	5208教室	受講人数	20名
対象職種	教諭		認定番号	令03-30602-504363号
主な対象者	中学校・高等学校教諭			
講師	白石 敬晶（経営学部教授）			
講習趣旨	<p>今日では情報教育に於いて、単に情報機器の操作や仕組みを理解するだけでは十分ではなく、社会生活と密接に関わる SNS の理解は欠かせません。</p> <p>そこで Facebook、Twitter や LINE 等の代表的な SNS を利用者と提供企業の両面から考えます。なぜ SNS は無料で利用できるのか、また情報インフラとしての SNS について利用者は何を知っておくべきか、メディアリテラシーの観点から SNS を考えます。</p>			
講習日程	<p>8:30 ~ 8:50 受付</p> <p>8:50 ~ 9:00 オリエンテーション</p> <p>9:00 ~ 9:30 SNS とメディアリテラシー</p> <p>9:30 ~ 10:30 企業・サービスとしての SNS</p> <p>10:30 ~ 10:40 休憩</p> <p>10:40 ~ 12:10 政府との関係</p> <p>12:10 ~ 13:10 昼食休憩</p> <p>13:10 ~ 14:40 SNS の問題点</p> <p>14:40 ~ 14:50 事例</p> <p>14:50 ~ 15:50 SNS 運営企業としての取り組み</p> <p>15:50 ~ 16:00 受信者・発信者として注意すること</p> <p>16:00 ~ 16:30 試験</p>			
認定方法	PCによる筆記試験			
教科書・教材等	Moodle 上に掲載			
備考	開講条件:5名以上			

講習名	思わず買わせる仕掛けづくり ～儲けるマーケティング戦略の極意～		時間数	6時間
開催日	2021年8月20日 金曜日	ラーニングコモンスペース (附属図書館)	受講人数	20名
対象職種	教諭		認定番号	令03-30602- 504364号
主な対象者	高等学校(商業)教諭			
講師	日高 光宜(経営学部教授) 武次 玄三(経営学部教授)			
講習趣旨	本講座は、お客様を思わず買わせてしまう仕掛け方(マーケティング)について、具体的な最新事例を元に、その理論と実践について基礎から学べます。マーケティング戦略は社会・経済環境の変化に対し、繊細な対応が求められます。特に、コロナ禍において、私たち生活者の消費行動はいかに変化したのか、それはマーケティング戦略にいかなる革新を誘発したのかについて受講生の皆さんと考えたいと思います。			
講習日程	8:30 ~ 8:50 受付 8:50 ~ 9:00 オリエンテーション 9:00 ~ 9:50 ビジネスとしてのエコロジー(武次玄三) 9:50 ~ 10:00 休憩 10:00 ~ 10:50 コロナ禍におけるヒット商品 10:50 ~ 11:00 休憩 11:00 ~ 11:50 コロナ禍と消費者心理 11:50 ~ 12:50 昼食・休憩 12:50 ~ 13:50 コロナ禍におけるマーケティング戦略の革新(1) 13:50 ~ 14:00 休憩 14:00 ~ 14:50 コロナ禍におけるマーケティング戦略の革新(2) 14:50 ~ 15:00 休憩 15:00 ~ 16:00 筆記試験			
認定方法	上掲の講義内容についてどの程度理解したかを、記述式の試験で確認いたします。			
教科書・教材等	当日、プリント資料を配布いたします。			
備考				

講習名	教育現場における憲法問題および民事問題の検討		時間数	6時間
開催日	2021年8月21日 土曜日	5405教室	受講人数	20名
対象職種	教諭		認定番号	令03-30602-504365号
主な対象者	中学校・高等学校教諭			
講師	井上 洋一（法学部准教授） 濱村 実子（法学部講師）			
講習趣旨	本講習では、教育現場で生じ得る法的な問題について、憲法および民法の観点から考察します。具体的には、憲法については、学校における個人情報保護の問題・公立学校における宗教教育禁止・教育の機会均等の問題を中心に、民法については、いじめ問題・学校事故の問題を中心に提起し、現在の教育現場で顕在化している法的諸問題とその対応策・予防策について検討を行います。			
講習日程	8:30 ～ 8:50 受付 8:50 ～ 9:00 オリエンテーション 9:00 ～ 10:30 教育現場における憲法問題【前半】（井上 一洋） 10:30 ～ 10:40 休憩 10:40 ～ 11:40 教育現場における憲法問題【後半】（井上 一洋） 11:40 ～ 12:40 昼食休憩 12:40 ～ 14:10 教育現場における民事問題【前半】（濱村 実子） 14:10 ～ 14:20 休憩 14:20 ～ 15:20 教育現場における民事問題【後半】（濱村 実子） 15:20 ～ 16:20 筆記試験			
認定方法	講義内容について記述等の試験で確認します。			
教科書・教材等	当日に資料を配布します。			
備考				

8. 更新講習受講申込郵送方法等

本学の教員免許状更新講習案内ページから教員免許状更新講習システムに移動し、ユーザー登録、受講登録、事前アンケートを完了させ下記の①を印刷します。①に顔写真を貼付して必要事項を記入し学校長等の証明の上、②返信用封筒1枚を同封し、下記申込受付期間に郵送(簡易書留)してください。封筒表に朱書きで「受講申込書在中」と記入下さい。

申込受付期間：令和3年4月20日(火)～5月19日(水)(当日消印有効)

※SNSについて知っておくべきこと(1講習のみ)

令和3年4月20日(火)～7月15日(木)(当日消印有効)

必要書類等 詳細

① 令和3年度 宮崎産業経営大学教員免許状更新講習受講申込書

必要事項を記載の上、申込前6ヶ月以内に撮影した正面顔写真(上半身無帽で縦4cm×横3cm。裏面に氏名記入)を貼付し、学校長等の証明を受けてください。

② 返信用封筒1枚

返信先の郵便番号、住所、氏名を記入した長形3号(120×235mm)封筒に 84 円分の切手を貼付してください。(この返信用封筒は、免許状更新講習履修証明書の送付に使用します。)

受講申込書提出先

〒880-0931 宮崎県宮崎市古城町丸尾 100 番地

宮崎産業経営大学 教員養成センター 教員免許状更新講習係 宛

受講料納付

受講登録及び申込書郵送が完了した後、受講する講習を合計した受講料を下記の銀行口座に納付してください。【1講習 6,000 円、3講習受講の場合は 18,000 円】

受講料振込先

銀行名：宮崎銀行 大淀支店

口座番号：普通 4143

口座名義：学校法人 大淀学園 理事長 大村昌弘

受講料納付期限

令和3年7月21日(水)までに受講料を納付してください。

※ 受講料振込の際は、名前の前に受講者 ID(20xxx00001)の下 3 桁をご記入ください。受講者 ID は、教員免許状更新講習システム登録の際にメモを取る必要のあった番号です。

例：001 サンケイタロウ

受講許可通知と受講票の印刷

申込書・受講料納付を大学側で確認後、受講案内(お知らせ)を教員免許状更新講習システムで登録された E メール宛に送付します。この E メールに受講票の印刷方法も添付します。

※Eメールが届きましたら確認のため返信をお願いします。

9. 受講辞退について

受講を辞退される方は、申込手続(書類の提出・受講料納付済)に関係なく、ご連絡(メール、電話)ください。

※ 受講料の返還について

申込手続を完了された方が講習開講日前日(必着)までに所定の書類(受講辞退届・受講料返還請求書)による教員免許状更新講習受講料返還請求をした場合、受講料から振込手数料を差し引いた金額を返還いたします。ただし、締切日(講習開講日前日)を過ぎて請求された場合には返還いたしません。なお、書類の提出については、**書留郵便**でお願いいたします。

10. 問い合わせ先

宮崎産業経営大学 教員養成センター教員免許状更新講習係 (※ **大学休業期間**:8月11日～15日)

〒880-0931 宮崎県宮崎市古城町丸尾 100 番地

電話:0985-52-3202(直通) FAX:0985-54-5334

E メールアドレス: kousin1@mail.miyasankei-u.ac.jp

11. 受付

講習受付時間は8時30分から8時50分までとなっております。

受付時間内に5号館1階受付にお越し下さい。

12. その他

*駐車場のご案内:大学敷地内の駐車場をご利用ください。

*昼食は各自で用意して下さい。(学生食堂が休業のため)

本学の近辺には、「うどん屋」・「セブンイレブン」等がございます。

●個人情報の取り扱いについて

所定申込用紙、事前アンケートなどでいただいた個人情報は、教員免許状更新講習に関する業務以外に使用いたしません。

講習受講の流れ

受講申込	<p>受講申込期間</p> <p>令和3年4月20日(火)～5月19日(水) (※SNSについて知っておくべきこと)</p> <p>令和3年4月20日(火)～7月15日(木) (※その他の講習)</p>
	<p>Step.1 更新講習システムにユーザー登録</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>Step.2 更新講習システムで受講登録(講習毎)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>Step.3 更新講習システムで事前アンケートの回答(講習毎)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>Step.4. 更新講習システムで印刷した申込書の送付</p>
	<p>受講料納付</p> <p>受講料は銀行振込</p>
	<p>申込手続き完了のお知らせ</p> <p>申込書・受講料納付確認後 Eメール宛に受講許可通知書を送付</p>
<p>受講票の印刷</p> <p>更新講習システムで受講票の印刷(講習毎)</p>	<p>受講</p> <p>認定試験</p> <p>事後評価アンケート</p> <p>受講当日は、写真貼付した受講票(講習毎)を持参ください。 受講講習の最終時間に試験を行います。 試験終了後、「事後評価アンケート」へのご協力をお願いします。</p>
<p>履修証明の発行・送付</p> <p>令和3年10月8日(金)までに送付</p>	

13. 講習会場案内図



■バスをご利用の方

宮崎交通バス 清武・田野線「産経大入口」バス停下車。徒歩 3 分

■鉄道をご利用の方

JR 南宮崎駅よりタクシーで約 5 分、バス(バスをご利用の方参照)

■空港から

タクシーで約 20 分

■お車をご利用の方

【宮崎北部方面からの経路】

橋通から青島方面に向かいます。「源藤」交差点 を清武方面へ右折し、「産経大入口」交差点を右折します。
左手の産経大正門を通り過ぎ、第一駐車場よりお入り下さい。

【宮崎南部方面からの経路】

宮崎南バイパスを市内中心部に向かいます。「源藤」交差点 を清武方面へ左折し、「産経大入口」交差点を右折します。左手の産経大正門を通り過ぎ、第一駐車場よりお入り下さい。

※正門からは駐車場にアクセスできません。

正門を過ぎ約100m 先の左側に第一駐車場、第二駐車場がございます。

※自転車・オートバイでお越しの方は正門から入っていただき、指定の駐輪場をご利用ください。